

## 式 辞

通学路の木々のつぼみも日ごとに膨らみ、寒さの中にも躍動する春の息吹を感じる今日の良き日敬愛学園高等学校 第六十八回卒業証書授与式をご来賓並びに保護者の皆様のご列席の下、厳肅かつ晴れやかに挙行できますことを心から感謝申し上げます。ただ今、三百九十一名に卒業証書を授与いたしました。

卒業生の皆さん 卒業おめでとうございます。今、皆さんの脳裏には 本校での出来事が次から次へと走馬燈のようによみがえっていることと思います。

三年前新型コロナウイルスの感染が拡大する中、皆さんの高校生活は全国一斉休校からスタートしました。三年生になって、校外学習などの学校外での行事や敬学祭の対面開催が再開できたことはせめてもの救いでしたが、楽しみにしていた修学旅行をはじめ、様々な学校行事や部活動の大会などが中止や縮小され、その度にやるせない思いをしたことと思います。しかし、皆さんは今まで誰も経験したことのない状況をしっかり受け止めた上で高校生としてすべきことに、真摯に取り組んでくれました。毎日の学校生活で示した明るく素直な生活態度、学校行事で発揮した集中力と団結力、放課後の部活動で続けたひたむきな努力、これら全てが、本校の良き伝統としてこれからも後輩たちにしっかり引き継がれていくものと確信しています。

皆さんがこれから歩む社会は、未知なる感染症の流行だけでなく、地球規模のエネルギー・環境問題や食糧問題。加えて、ロシアのウクライナ侵攻により一気に不安定になった国際情勢。そして国内では急速に進む少子高齢化など様々な課題を抱えています。さらに、人工知能やロボットをはじめとする先端技術の加速度的な進歩により、変化が激しく先行きが不透明な社会でもあります。このような厳しい状況ではありますが皆さんには「人生百年」と言われる時代に、充実した人生を主体的に歩んで欲しいと願っています。

卒業に当たって、私から皆さんに二つお願いがあります。一つ目は、思いやりの心を大切にし、豊かな人間性を備えた人になって欲しいと思います。他者への思いやりは、結果として自らも幸せにしてくれます。さらに、周囲の人から信頼されることに繋がります。本校の建学の精神である「敬天愛人」を卒業後も実践し続けて欲しいと思います。二つ目は、高い志を持って、失敗を恐れず挑戦し、最後まであきらめずに粘り抜く人になって欲しいと思います。皆さんには無限の可能性があります。限界は他人が決めるのではなく、自分の心の中にあるものです。挑戦する前から自分の限界を決めないでください。時には失敗することもあると思いますが、その経験が自分を成長させてくれると信じて、前に進んでいってください。そ

して、常に将来に希望を持ち、変化に対応しながらも、周囲に流されることなく、自らの座標軸をしっかり持って主体的に生きていってください。

保護者の皆様、お子様のご卒業おめでとうございます。高校卒業という人生の節目を迎え、感慨ひとしおのことと思います。私たちは生徒に自立した大人として成長して欲しいと願い、これまで教育を進めてまいりました。これからもひとりの大人として自らの意思と責任で歩むその後ろ姿を皆様とともに見守ってまいりたいと思います。改めまして、これまで本校にお寄せいただいた数々のご支援とご協力に深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、本日ご列席を賜りましたご来賓の皆様には、公私ともご多用のところ、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。今後とも、本校卒業生、並びに本校に対しまして、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。それでは、希望に満ちた門出に当たり、この学舎を巣立ちゆく皆さんの前途に幸多からんことを心から祈念して式辞といたします。

令和五年三月一日

敬愛学園高等学校 校長 奥山 慎一